




令和5年度 基本評価調書		所管部局	経済部	所管課	雇用労政課		
施策名	女性、高齢者、障がい者の就業促進			施策コード	0522		
政策体系(中項目)	だれ一人取り残さない、だれもが活躍できる社会づくり			政策体系コード	3(3)A 3(3)B		
関連重点戦略計画等	知事公約、創生総合戦略					事務事業数	2
特定分野別計画	北海道雇用・人材対策基本計画						
SDGs				総合判定	概ね順調		
予算額(千円)	R 5	87,735千円	R 4	91,835千円	R 3	102,537千円	

施策目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性の活躍を推進するため、結婚、出産・育児等により離職後、再就職を希望する女性や、ひとり親家庭の母親に対する就職支援を実施する。</li> <li>高齢者が働きやすい環境づくりを進め、様々な形で地域に貢献し、元気に活躍できる社会づくりに取り組む。</li> <li>障がいのある方々が、本人の希望や障がい特性などに応じて、いきいきと働くことができるよう、幅広い就業機会の確保に向けた取組を進める。</li> </ul>
現状と課題	<p>(女性の就業促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本道における女性の就業率は全国平均を下回っている状況にあり、就業の継続を希望しながらも出産・育児等で離職する女性が多いことや、キャリアブランクや子育てとの両立への不安などから就職を希望しながらも活動に至らない女性が一定数存在していることから、様々なニーズに応じて就職に向けたきめ細かな支援を実施する必要がある。</li> </ul> <p>(高齢者の就業促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>65歳以上の就業率は上昇傾向にあるものの、全国平均を下回っている状況にあるため、高齢者雇用の普及啓発や就業開拓を促進する必要がある。</li> </ul> <p>(障がい者の就業促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がいのある人の民間企業における実雇用率は、全国平均を上回っているものの、多くの企業が法定雇用率を達成していない状況であるため、道内経済団体等に対し要請活動を実施する必要がある。</li> </ul>
前年度二次評価意見	総合計画に掲げる意欲と希望のある高齢者や障がいのある方々の活躍促進のため、高齢者が働きやすい環境づくりを進めることが重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。
対応状況	地域における高齢者の活躍促進に向け、従来の取組を継続するとともに、事業主をはじめ、広く道民全体の理解を深めるための広報活動の充実により、高齢者の雇用に係る一層の機運の醸成を図る。

### 〈主な取組〉

今年度の取組	<p>(女性の就業促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マザーズキャリアカフェ(MCC)を設置し、子育て中の女性の再就職を支援</li> <li>「子育て女性等の就職支援協議会」(北海道労働局主催)において各関係機関と連携</li> </ul> <p>(高齢者の就業促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シルバー人材センター連合会が行う事業を支援するとともに、パネル展などによる啓発を行い、センター事業の活用を促進する。</li> </ul> <p>(障がい者の就業促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経済団体等への障がい者雇用の要請、雇用促進フェア(就職面接会)の開催、障がい者雇用関係表彰、障害者就業・生活支援センターの指定業務、特別支援学校の見学会など、障がい者の就業を促進する。</li> </ul>
実績と成果	<p>(女性の就業促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マザーズキャリアカフェにおいて子育て中の女性の再就職を支援するなど、女性の就業を促進。</li> <li>マザーズ・キャリアカフェ利用者延べ数 R2:886名 R3:1,031名 R4:1,225名</li> </ul> <p>(高齢者の就業促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道シルバー人材センター連合会に対する事業支援、取組を紹介するパネル展を開催するなど、高齢者の就業の促進した。</li> <li>センターへの補助金 6,699千円(R4年度) ・パネル展の開催 令和4年9月26日~27日</li> </ul> <p>(障がい者の就業促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経済団体への障がい者雇用の要請、道内5地域で雇用促進フェア(就職面接会)を開催、障がい者雇用関係表彰の実施、障害者就業・生活支援センターの運営、特別支援学校企業向け見学会の実施などにより障がい者雇用の取り組みを促進した。</li> <li>フェアの開催(道内5地域 令和4年10月14日~11月18日)</li> <li>表彰者数 R2:3名、R3:3名、R4:2名 ・見学会の開催校 R2:16校、R3:16校、R4:17校</li> </ul>
参考HP①	北海道雇用・人材対策基本計画 <a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/rkr/koyojinzaikihonkeikaku.html">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/rkr/koyojinzaikihonkeikaku.html</a>
参考HP②	マザーズキャリアカフェ <a href="https://www.jobcafe-h.jp/about/">https://www.jobcafe-h.jp/about/</a>
参考HP③	

令和5年度 基本評価調書

【3(3)A 3(3)B\_0522】女性、高齢者、障がい者の就業促進

〈指標分析〉 ⇒ 成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	増加	%	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
高齢者（65歳以上）の就業率 （暦年）		目標値	25.1	25.1	25.2	全国平均値以上	89.7%	C
		実績値	22.2	21.7	22.6			

**設定理由** 多様なスキルや豊富な経験を活かして、高齢者が仕事に就き、地域や産業で活躍できる社会の状態を測る指標であり、高齢者の就労促進への課題の取組に関する成果を測る指標として設定

**指標公表時期** 毎年調査、1月公表 **出典（根拠計画等）** 総務省「労働力調査」

分析（主な取組と成果）

シルバー人材センター連合会に対する事業支援、取組を紹介するパネル展を開催するなど、地域における高齢者の活躍促進に向けて高齢者雇用の普及啓発や就業開拓を実施したことにより、道内における高齢者の就業率は上昇したものの、依然として全国平均を下回っている状況にある。

指標名②	増加	%	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
障がい者の実雇用率（民間企業） （暦年）		目標値	2.2	2.3	2.3	法定雇用率以上	106.1%	A
		実績値	2.35	2.37	2.44			

**設定理由** 障がいのある方々が仕事に従事し、地域で活躍できる社会の状態を測る指標であり、障がい者の就労促進の課題の取組に関する成果を測る指標として設定

**指標公表時期** 毎年調査、11月頃公表 **出典（根拠計画等）** 厚生労働省北海道労働局「障害者雇用状況の集計結果」

分析（主な取組と成果）

目標値を上回る結果となり、道の施策はもちろん、国など関係機関と連携した取組の成果が現れており、引き続き、障がいのある方の幅広い就労機会の確保に向けた取組を進める。

指標名③	増加	人	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
マザーズ・キャリアカフェでの女性就職者数		目標値	83.0	83.0	83.0	581	186.7%	A
		実績値	88.0	127.0	155.0			

**設定理由** 結婚等により離職後、再就職を希望する子育て女性を始めとした働きたい女性など様々な状況に置かれた女性の就業促進の状況を測る指標であり、女性、高齢者、障がい者の就業促進といった施策の目標に関し、女性の就業促進への課題の取組に関する成果を測る指標として設定。

**指標公表時期** 毎年調査、4月確定 **出典（根拠計画等）** 北海道経済部調べ

分析（主な取組と成果）

R4年度は新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、子育て女性等のマザーズキャリアカフェ利用者数が増加した結果、実績が向上し目標が達成されたと考えられる。  
（参考）これまでの実績値累計（H30～R4）：659人 進捗率：113.4%

指標名④	増加	%	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
女性（30～34歳）の就業率 （暦年）		目標値	76.2	77.0	77.8	79.2	96.1%	B
		実績値	72.8	76.0	74.8			

**設定理由** 結婚等により離職後、再就職を希望する子育て女性を始めとした働きたい女性など様々な状況に置かれた女性の就業促進の状況を測る指標であり、女性、高齢者、障がい者の就業促進といった施策の目標に関し、女性の就業促進への課題の取組に関する成果を測る指標として設定。

**指標公表時期** 毎年調査、1月公表 **出典（根拠計画等）** 総務省「労働力調査」

分析（主な取組と成果）

マザーズ・キャリアカフェにおいて、カウンセリング及びセミナー等の支援を実施したが、北海道における女性の就業状況は、厳しい状況にあり、目標未達となった。（R3全国平均値77.2%）

指標名⑤			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
		目標値					—	—
		実績値						

**設定理由**

**指標公表時期** **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て女性等に対する支援に加え、各支援機関との連携・情報共有を図ることが必要である。</li> <li>北海道労働局、関係各部と連携して、障がい者雇用の一層の促進(採用や待遇の差別禁止など)について、道内経済団体等に対し要請活動を実施(本庁・振興局)しているが、障がい者の実雇用率は、比較的規模が小さい企業が低い状況にあり、小規模企業における障がい者雇用を一層促進する必要があるため、更なる連携が必要である。</li> </ul> <p>(取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マザーズキャリアカフェを通じ、女性に対するカウンセリングやセミナーを実施するとともに、「子育て女性等の就職支援連絡会議」において、北海道労働局・道庁関係部に加え、札幌市などと情報共有を図っている。</li> <li>障がい者雇用の促進に向け、引き続き、保健福祉部と連携し、障害者就業・生活支援センターの運営を行うほか、北海道労働局や保健福祉部・教育庁と連携し、経済団体等への障がい者雇用に係る求人要請を行っている。</li> </ul>
緊急性 優先性	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本道における女性の就業率は、全国平均を下回るなど、厳しい状況にある。</li> <li>道内の65歳以上の高齢者の就業率は、全国平均に比べて低く(R4:北海道22.6%、全国25.2%)なるなど、高齢者の労働参加の取組が課題となっていることや、障がい者雇用を促進する上で有効な手段であるジョブコーチ制度などの国の制度が有効に活用されていない。</li> </ul> <p>(取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就業の継続や再就職を希望する女性に対し、国や関係機関と連携しながら、マザーズキャリアカフェにおけるきめ細かなカウンセリングの実施等により、取組の効果的な推進を図っている。</li> <li>シルバー人材センター連合会への運営費補助の拡充や活動拠点の設置基準の緩和、障がい者の雇用を促進する制度の一層の充実について、国に要望している(R5年6月)。</li> </ul>

〈取組分析（その他の統計数値等）〉

成果指標で課題への対応を説明済

統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
分析等			
(課題)			
(分析等)			
統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
分析等			
(課題)			
(分析等)			
統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度
分析等			
(課題)			
(分析等)			

## 〈総合判定〉

指標判定	B	連携状況	○	総合判定	概ね順調
		緊急性・優先性	○		
		その他の統計数値等	—		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標

( — )

翌年度に向けた 対応方針	対応方針番号	内容
	①	北海道における女性の就業率等に課題があることから、引き続き子育て中の女性等に対し、国や関係機関と連携しながら、マザーズキャリアカフェ等において、カウンセリングやセミナーを実施するなどして就業を促進する。
	②	高齢者の就業率は依然として全国平均と比べ低いことから現在行っている、高年齢者雇用の取組やシルバー人材センター事業を紹介するパネル展による普及啓発のほか、事業主をはじめ、広く道民全体の理解を深めるための広報活動の充実について、検討する。
	③	

## 〈二次政策評価〉

二次政策評価	【施策目標の達成状況】 総合計画に掲げる、意欲と希望のある高齢者や障がいのある方々の活躍促進のため、高齢者雇用の普及啓発や就業開拓を促進が重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。
--------	--

<b>令和5年度 事務事業評価調書</b>	施策名	女性、高齢者、障がい者の就業促進	施策コード	0522
-----------------------	-----	------------------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	事業費 (千円)	うち 一般財源	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見
									本庁	出先機関	人工計		対応 方針 番号	方向性	
0819	0519	一般	北海道就業支援センター事業費	若者や女性、中高年齢者の就業支援をワンストップで実施するほか、企業の人材確保や職業定着を支援するとともに、在職者向けカウンセリングを実施	雇用労政課	0	81,036	81,036	2.0	0.70	2.7	102,204	①	改善(取組分析)	
0822		一般	高齢者労働能力活用事業費補助金	シルバー人材センターの健全育成・設置促進を図るため、道内シルバー人材センターの指導調整機関である(社)北海道シルバー人材センター連合会に対し補助	雇用労政課	0	6,699	6,699	1.0	0.00	1.0	14,539	②	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調書<二次政策評価>参照
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
計						0	87,735	87,735	3.0	0.7	3.7				

